

東地域まちづくり協議会だより

第4号



東地域まちづくりの基本は東地域が好きな人を育てること 東地域を持続・発展させるための人づくり・後継者づくりについて

明けましておめでとうございます。よいお正月を迎えられたことと存じます。昨年は、東地域まちづくり協議会へのご理解・ご協力を賜り心からお礼申し上げます。昨年6月1日（木）の総会（発足式）後、「総務広報部」、「福祉いきいき健康部」「安全・安心な地域づくり部」「ふれあい交流部」の組織で、これまで「ひみまつり清掃活動・東地域夏季ふれあいラジオ体操」、「自主防災訓練：中央地区及び北部地区合同」、「社会福祉協議会主催の敬老会」、そして年間を通して「あいさつ運動」を実施しております。この後、東地域について頭と足で学ぶ「ぶらり散歩」を本年3月に実施する予定です。

さて、昨年、氷見市役所からの依頼を受け、三重県松阪市から先進地視察としての訪問の際、東地域まちづくり協議会の取り組みについて説明させていただきました。このほど、お礼の挨拶文をいただきましたので皆様にお伝えいたします。

東地域まちづくり協議会様

松阪市長 竹上 真人

先進地視察について（お礼）

晩秋の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度の先進地視察に際しまして、東地域まちづくり協議会様の取り組み等について視察をお願いいたしましたところ快くお引き受けいただき、おかげをもちまして有意義な視察となりましたこと厚くお礼申し上げます。

松阪市におきましては、平成24年4月に市内43地域で地域主体のまちづくりがスタートしましたが、様々な課題が山積している状況であります。・・・（省略）。東地域まちづくり協議会の、子どもに重点を置いた取り組みや、会長様の熱い心意気を肌で感じさせて頂き、しっかりと地域を応援しなければと心新たにさせて頂きました。

視察に際しましては、ご多用の折にもかかわらず懇切丁寧にご教示いただきました大嶋会長様には深く感謝申し上げます。

最後に、貴会のますますのご発展をご祈念いたしまして、まずは略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。

東地域まちづくり協議会の特徴は、子どもをまちづくりの中心に置いていることです。それは、地域づくりは何と言っても人づくりであり、後継者づくりであると考えているからです。例えば、各町内毎に登校の際の交通指導を実施していることもその一つで、子どもたちへのあいさつや声かけを通じて東地域の子どもの公共心や社会性の醸成を目指しているのもそのためであります。

- ◇ 子どもの教育はまずあいさつから
- ◇ 地域社会安心・安全もあいさつから
- ◇ コミュニケーションもあいさつから

子どもたちのあいさつは、4月に比べると声もはつきりと大きくなりよくなりました。元気よく「おはようございます」とあいさつをされると、とてもよい気分になります。あいさつとは、このように相手に気



“朝のあいさつ・交通指導”

持ちよさを与え、自分も返されることでコミュニケーションがとれ、喜びを感じることに あります。このあいさつの推進には、地域の連携した取り組みが大切で、それには地域社会の全ての人々に働きかけることが重要なのです。あいさつ運動の定着には時間がかかりますが、定着するとそれが地域の伝統となり、財産となって未来に受け継がれていきます。このようにして、地域の将来を担う子どもたちが成長していくことは地域社会の喜びであり、私たちの励みにもなります。大人の後ろ姿を学び育った子どもたちが、やがて私たちの立場となった時に、感謝の心で故郷のために力を発揮してくれることを念願しています。子どもの未来は地域の未来！子どもを地域で見守る事、学校・家庭・地域のみんなで育てるため、互いに手を取り合い、力を合わせなければなりません。

「志を果たしていつの日にか帰らん」というのは、有名な「ふるさと」の3番の歌詞であります。 「志を果たしにいつの日にか帰らん」となることを切に願っております。少子化の中で、できるだけ多くの子どもが地域に住み、地域に戻っていただきたいと考えます。

本年も、より元気なあいさつ、明るい東地域にしていくため、標語づくりなどの活動も学校との強固な連携の基に取り組んでいく予定でありますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

(文責 大嶋 充)